

浦添市美術館常設展関連企画・浦添市職員自主研修補助事業

新・琉球漆芸研究会議 2019 3/16

近世琉球の技術・モノ・社会—琉球漆器を中心として—

問合せ
浦添市美術館
☎098-879-3219
✉bijutu@city.urasoe.lg.jp

主催：浦添市美術館・浦美コレクション研究会

日時：2019年3月16日（土） 13:00～18:30 場所：美術館講堂

料金など：第1部のみ常設観覧料金（一般200円）必要 定員50人 予約不要

第1部 13:00～14:20 有料 *常設展示観覧料金（200円など）

基調報告 安里進（沖縄県立芸術大学附属研究所客員研究員）
「近世首里・那覇の人口増大による都市化と琉球漆器生産」

「琉球漆芸研究会議」は1996年～99年に浦添市美術館で開催した研究会です。



琉球漆器ってな〜に？

ぼーっとしないで

考えてみよう！

朱漆楼閣山水箱絵湯庫 18～19世紀 浦添市美術館所蔵

第2部 14:30～17:50 各報告30分 無料

- 報告-1 「琉球製中央卓について」
伊禮拓郎（県立芸術大学大学院生）
- 報告-2 「湯庫について」
當山綾乃（浦添市教育委員会文化財課）
- 報告-3 「堆錦技法の展開—王国から近代—」
岡本亜紀（浦添市教育委員会文化財課）
- 報告-4 「作者名入り漆器の登場—宇根良方と田名宗経—」
金城聡子（浦添市美術館）
- 報告-5 「近世琉球社会のモノづくり」
麻生伸一（沖縄県立芸術大学准教授）

第3部 17:50～18:30 無料

ディスカッション
コーディネーター 小池富雄（鶴見大学文化財学科教授）

懇親会：19:00～ 近隣にて開催 会費3000円
3/10（日）までに電話にて申込ください。（担当：金城）